

# ウクライナ

## 概要

人口 45,750,000 人

首都 キエフ

## ろう者の状況

ろう協会 ウクライナろう者協会 (UkSD) は 1933 に設立。1956 年世界ろう連盟に加盟。

## ろう者の数

聴覚機能障害者数は非公式な数字として 18 万人前後。ろう協会加入者は 47,000 人前後。

## ろう者の権利を守る法律

障害者の社会保護の基準についての国内法 (手話言語の法的位置づけ: 23 条 指文字の手話を難聴の学習障害者のコミュニケーションの手段としても認めている)

国連障害者権利条約 選択議定書 2008 年 9 月 24 日署名 2010 年 2 月 24 日批准

## ろう教育

広範囲に 70 校の幼児特別教育学校、聴覚障害児のための寮のある中等学校があり、ろう者は大学や職業学校、高等教育機関で特別・高等教育を受けることができる。

## 手話

ウクライナ手話、ロシア手話

## 音声言語

公用語はウクライナ語 少数言語としてロシア語、ハンガリー語、ポーランド語、ベラルシア語、ブルガリア語、ルーマニア語、クリミア・タタール語

## 手話通訳者

## 手話通訳者数

- ・ 450 人の通訳者、その内 350 人がろう協会の制度で通訳に従事

## 手話通訳者協会

- ・ 法律上は手話通訳者連盟という NGO としてあるが、事実上は活動休止中
- ・ 2007 年 11 月キエフ手話通訳者協議会 (CSLI) 創立。キエフろう協会の諮問的な機関である。CSLI の活動はウクライナあるいはキエフ市の手話通訳者の問題に取り組むことである。

## 会員数

NGO 団体手話通訳者協会 不詳

キエフ CSLI 7 人 (会長 1、副会長 2、会員 4)

## 手話通訳者養成について

- ・ 手話通訳者養成は UkSD (ウクライナろう協会) の養成機関でのみ行われる。(2009 年 7 月 9 日ウクライナ教育科学省認可)
- ・ 初級コース (ITC) は 4 カ月半の期間で 186 時間の理論と 324 時間の実習 (計 510 時間)。平日 (祝日を除く) に 6-8 時間の授業。指導者は手話話者 6 人と手話通訳者 3 人。授業料をとる。ITC を修了した学生は手話通訳者としての国家資格を受ける。
- ・ 上級コース (ATC) は 1 カ月の期間で 32 時間の理論と 132 時間の実習 (計 164 時間)。授業は平日 (祝日を除く) に 6-8 時間。指導者は手話話者 6 人と手話通訳者 3 人。授業料をとる。ATC を修了すると手話通訳者としての上級資格を受ける。

## 養成での難点

- ・ 養成にかかる高額費用。手話通訳者として資格を得ようとする者がすべて全部の課程を取れるだけの財力があるわけではない。手話通訳者養成には国の補償がない。
- ・ 養成の中央集中。養成課程はキエフだけにあり、他の地方からの学生はフルタイムの授業のためには、地元や家族から離れ、仕事をやめなければならない。
- ・ 課程の厳しさ。学生は短い期間で多くの教材を身につけるのは精神的にも肉体的にも困難である。
- ・ 手話に関する能力や通訳の技術の点で能力差のある学習集団。ある集団にはゼロから学ぶ人と CODA のように手話を身につけているひととが混在することもありうる。ATC にもさまざまなレベルの学生がいる集団があろう。
- ・ 支援体制。UkSD の養成機関は学生や指導者に視覚教材や説明書を供給してい

ない。授業を技術的に適切に維持できていない。

- ・養成指導者。ウクライナには能力ある手話指導者の養成機関がない。業務を行っている指導者は自分の手話に関する知識と通訳技術にのみ頼っている。
- ・教育者間の不一致が教育課程の混乱をもたらしている。
- ・手話通訳指導に関して統一した言語観の欠如。教育課程の 2/3 は借用手話に使われ、1/3 のみがウクライナ手話の学習に使われている。

### 通訳者の試験・評価について

・養成課程・上級養成課程の評価は、関連する課程の最後に行われる。評価は、それぞれの課程の指導者から選ばれた 7 人（ろう 5 人、聴 2 人）からなる試験委員会が行う。

試験は 3 つの技能検査で構成。音声言語から手話言語への同時通訳、手話言語から音声言語への同時通訳、指文字。加えて、それぞれの課程の講義内容の知識・技能の検査。

- ・評価基準：
  - ・手話言語から音声言語への同時通訳における英語語彙及び構文能力
  - ・音声言語から手話言語（借用手話）への同時通訳における手話単語語彙及び音声言語の単語に相当する手話単語の選択の適切さ
  - ・指文字：指の正確さ（手の器用さ）、表示の速度、読み取りの正確さ。
  - ・明瞭度
  - ・NMF（非手指要素）
- ・課題は 12 点満点で採点、試験の結果は通訳者資格の評価機関に登録

### 通訳者の認定・資格について

・それぞれの課程を修了すると学生は手話通訳者としての職の資格を得る。さらに ATC(上級コース)を終了すると、上級手話通訳者の資格を得る。

・ウクライナろう協会では手話通訳者は部門に分けられている。カテゴリーなしの通訳（指文字）者、第 2 カテゴリー、第 1 カテゴリー、上級カテゴリーである。ITC（初級コース）を修了すると、認定委員会は、適切な免許証を発行しカテゴリーを割り当て（カテゴリーなし、第 2 カテゴリー）。ATC を修了すると、認定委員会は適切な免許証を発行しカテゴリーを割り当て（第 2 カテゴリー、第 1 カテゴリー）、上級カテゴリーへの推薦を与える。

### 2007 年以降の主要な成果

・UkSD 内での諮問的助言的な取り組みー キエフ手話通訳者協議会（2007 年 11 月）、これは現在も継続。

- ・ 2010年2月4日、ウクライナ議会 は国連障害者の権利条約及び選択議定書を批准
- ・ 第1回ウクライナ手話通訳者会議「ウクライナの手話通訳者－職業と役割」を2011年5月20日から22日にキエフで開催。ウクライナ各地から約80人が参加。
- ・ 各国の通訳者協会との関係づくり、CSLI（通訳者協議会）の会員は積極的に国際レベルのさまざまな会議、セミナーに参加している。

### 今後の目標

- ・ キエフ通訳者会議の当面の課題は影響する地域を広げることと、ウクライナ手話通訳者協会を創立すること
- ・ キエフ手話通訳者協議会はウクライナろう協会と協働して、ウクライナ手話と手話通訳者の地位を法的なレベルまで高め、通訳のサービスを改善し、障害者の権利条約を実現するための提案をする。